



わたしたちのネウボラ

～女性リーダー育成講座 まい🌀ぱれっと～

メンバー名：早川和子(寄居町)、赤沼美恵子(さいたま市)
白石のり子(深谷市)、島辺百合子(吉川市)
金子裕子(さいたま市)、伏木真奈(さいたま市)

目次

1. 調査報告の目的
2. 日本の子育ての現状
3. 日本の育児支援の現状
4. 聞き取り調査・考察
5. わたしたちのネウボラ提言

フィンランド「ネウボラ」(子育て支援)について

「ネウボラ」:フィンランド語で「アドバイスの場所」の造語

1920年代初頭 周産期の妊婦・乳児死亡率が高い危機感が始点

ネウボラ活動の先駆者

- ・・・小児科医と看護師・助産師たち
民間の有志

1944年 「ネウボラ」を
国の制度として制定された

現在 全国に800か所以上の
「出産・子どもネウボラ」がある。

利用料は無料



ネウボラでの健診の様子

資料: [ホームページ](#) > [フィンランドについて](#) > [フィンランドの子育て支援](#)

フィンランド「ネウボラ」(子育て支援)について

【仕組み】

ネウボラ保健師が各母親につき、妊娠から産後、学童期まで一貫して担当して悩み相談を受けアドバイスする。

育児パッケージ（母親手当の現物支給）

出産を控えている妊婦たちへの

「社会からの祝福」プレゼント♥

＜育児パッケージ＞



【目標】

子育ては、苦痛でなく

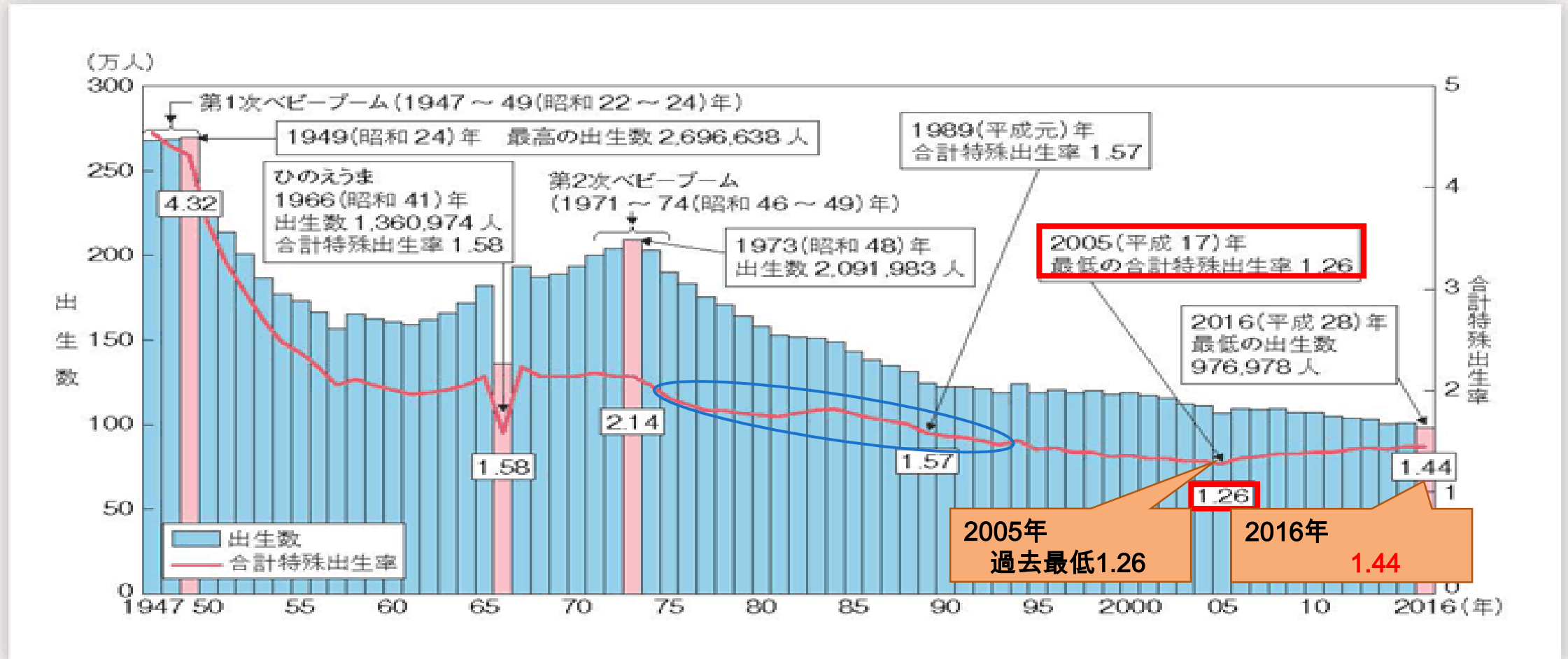
「ポジティブ・楽しい」経験してもらおう。



育児パッケージの中には約50点のアイテムが入っている

資料：ホームページ > フィンランドについて > プレゼント

日本の出生数及び合計特殊出生率の年次推移

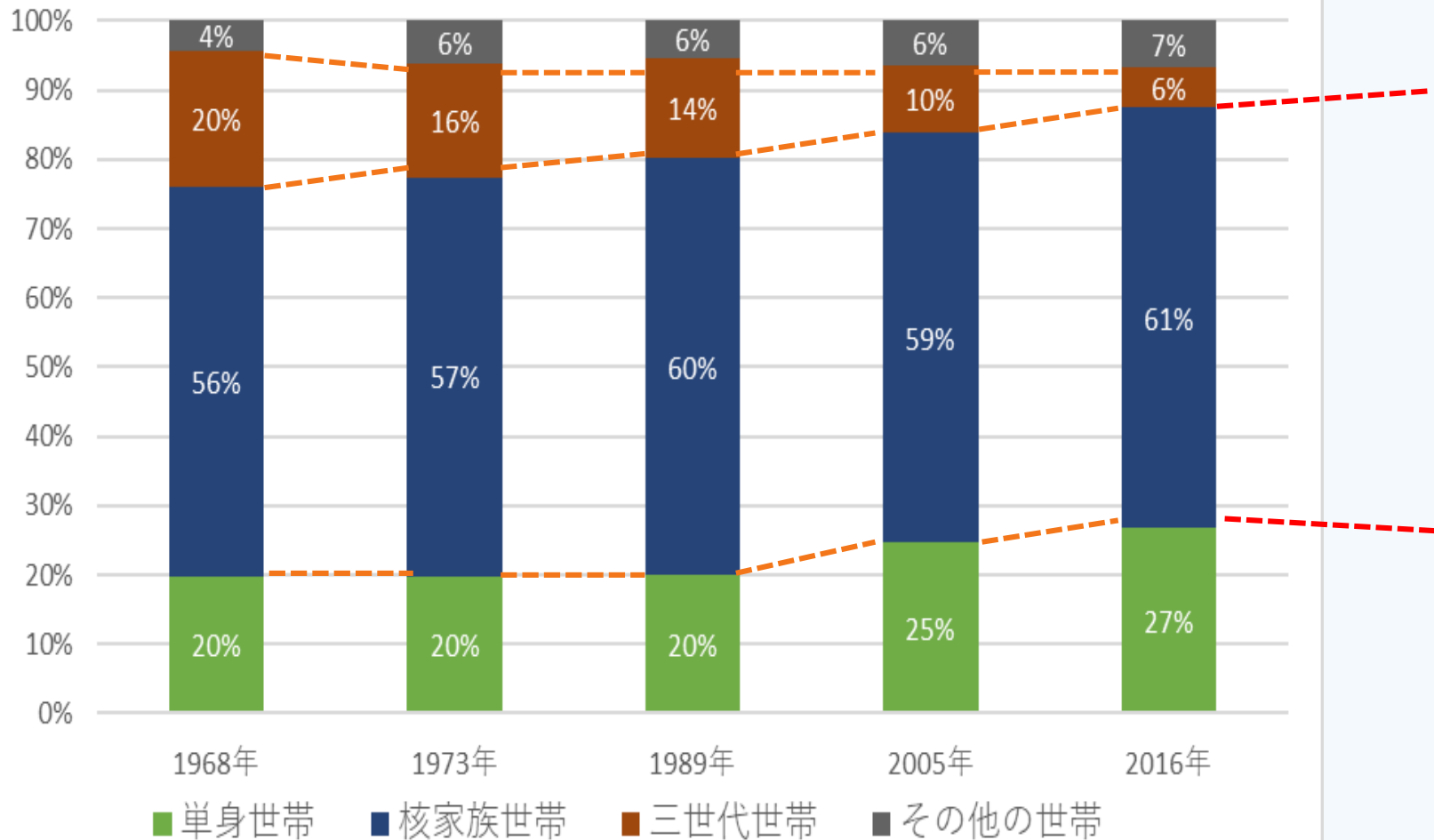


資料：厚生労働省「人口動態統計」

『少子化』：合計特殊出生率が2.07を大きく、かつ長期的に下回ること

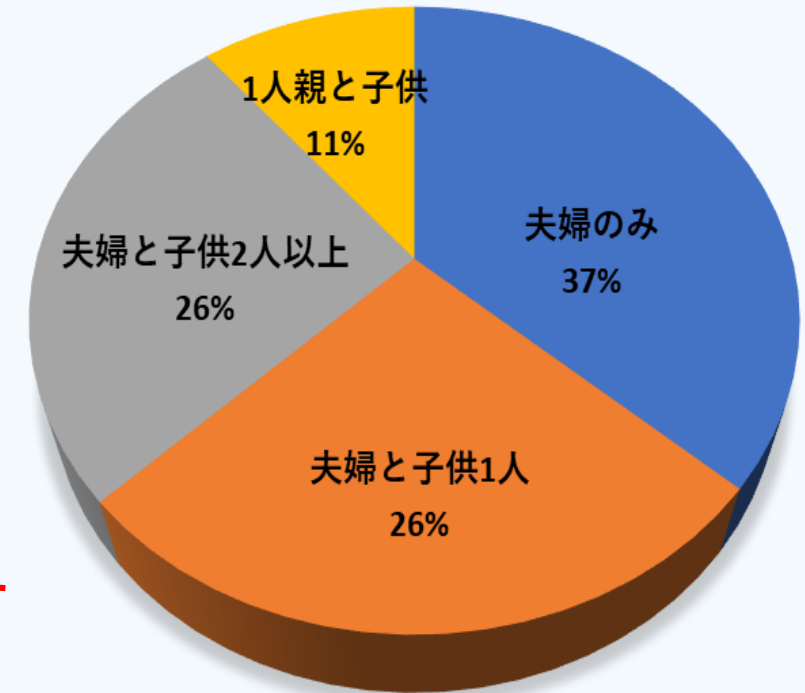
世帯構成の変化と近年の核家族の内訳

世帯構成の内訳



厚生労働省「国民生活基礎調査の概況」統計データ

核家族世帯の内訳
2016年



三世代の減少、核家族の多様化



孤立する母親

【特集】「死んだら楽かな…」102人が自殺、妊産婦を襲う“産後うつ”からママを守れ！

関西ニュース(8カンテレ 2018年10月29日(月))

妊娠・出産での「体の変化」が「心」にも影響する



「眠いのに眠れない」
 「とにかく物忘れがひどい」
 「何もやる気が起きない」
 ……
 そして
 ……
 「途方もない絶望感」に…



日本政府の少子化対策

- 1994年12月「エンゼルプラン」と「緊急保育対策5か年事業」策定
- 2004年「子ども・子育て応援プラン」

追加対策：若者の自立とたくましい子どもの育ち

【評価】保育と仕事の両立支援は、前進したが、

保育所の増設や育児休業制度取得の定着など



出生率の回復には繋がらなかった

- 2010年「子ども・子育てビジョン」

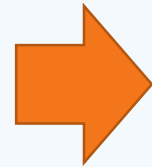
従来の「家庭や親が担う育児」という考え方から、

「社会全体で支える育児」へと発想を転換

最新の少子化対策：2015年「少子化社会対策大綱の改定」

目的：結婚、妊娠、子ども・子育てに温かい社会の実現をめざす

- 子育て支援のさらなる充実
- 若者が結婚・出産しやすい社会の整備
- 多子世帯への配慮
- 男女の働き方改革などがあげられた。



重要な柱：子ども・子育て支援新制度

- 『子育て世代包括支援センター』の設置
- 産後ケアの充実



産前産後の母親への

切れ目のない支援を行う

『日本版ネウボラ』の導入

聞き取り調査

子育て当事者が運営主体のサロン等

- 10/24 **赤ちゃん先生浦和学級** さいたま市(学校や施設で乳児とのふれあい体験)
- 10/29 **サンファム** さいたま市(助産所建物を借りて共有できる子育て、異年齢交流等)
- 10/31 **子育て応援サークルpapa aina** さいたま市(離乳食講座とほっこりママ会)
- 11/21 **ママハピサロン富士見** 富士見市(ハーバリウム等ママ活躍&集いの場)
- 11/22 **こそだてカフェうさぎの会** 所沢市(安心して話したり聞いたりできる場)
- 12/6 **赤ちゃん先生和光学級** 和光市(学校や施設で乳児とのふれあい体験)

【きっかけ】

- 転入による孤立
- 育児未経験の不安
- 活躍する場の不足

【サロンのニーズと効果】

小規模で継続的な繋がり → 安心感
子育て経験の共有、自己実現の場

【課題】

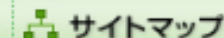
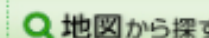
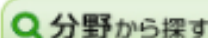
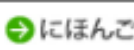
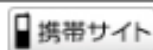
- 運営、資金調達、広報等の負担
- 情報過多で取舍選択が困難

・12/6 和光市役所 市民協働推進センター ・1/14 NPO法人 わこう子育てネットワーク

和光市の市ホームページ「わこう版ネウボラ」



みんなで作る
快適環境都市わこう



検索

検索の仕方

文字サイズ変更

拡大

縮小

色変更

標準

1

2

3

ホーム

和光の
魅力

くらしと
環境

健康と
福祉

教育と
学習

都市基盤

市政を
身近に

あれこれ
検索

ホームページ > 健康と福祉 > こども福祉 > 妊娠・出産 > わこう版ネウボラ～妊娠期からの切れ目のない支援～

妊娠・出産

- ・ [出産に関する助成](#)
- ・ [妊婦健診](#)
- ・ [マタニティキーホルダー](#)
- ・ [埼玉県不妊治療費助成事業のご案内](#)
- ・ [和光市未熟児養育医療給付制度のご案内](#)
- ・ [母子健康手帳](#)
- ・ [わこう版ネウボラ～妊娠期からの切れ目のない支援～](#)
- ・ [母乳のインターネット版](#)

わこう版ネウボラ～妊娠期からの切れ目のない支援～

わこう版ネウボラ3本の矢

和光市では、安心・安全な妊娠・出産・子育てを実現するために、「わこう版ネウボラ」事業を展開しています。

neuvola(ネウボラ)とは、フィンランド語で「アドバイスの場」を意味し、わこう版ネウボラ事業では、皆さんの身近な場所に子育ての不安な気持ちや悩みを相談し、支える場所を整え、安心して出産や子育てを迎えることができるように支援しています。

■ 母子保健相談事業(個別マネジメントの充実)

地域の子育て世代包括支援センター5か所に母子保健ケアマネージャー又は子育て支援ケアマネージャーを配置し、妊娠期から就学までの健康や子育ての相談等を行なっています。

【実施場所】

- 南子育て世代包括支援センター(みなみ保育園2階)
- 本町子育て世代包括支援センター(キッズエイド和光保育園1階)
- 中央子育て世代包括支援センター(和光市統合型地域包括支援センター)

和光市の市ホームページ「わこう版ネウボラ」

■ わこう版ネウボラ事業のフロー

ライフステージ別サービス一覧(わこう版ネウボラ事業・子ども・子育て支援事業)



わこう版ネウボラでは、母子健康手帳を地域のネウボラ拠点で交付し、妊娠期から出産・子育てに関する相談支援を母子保健ケアマネジャー及び子育て支援ケアマネジャーが一環して行います。その支援は、母子保健及び福祉的視点を持ち、経済的問題等にも対応します。

子育て支援機能の比較

	和光市	さいたま市
子育て支援の入り口施設 (母子手帳交付施設)	子育て支援包括センター	妊娠・出産包括支援センター
実施機関	行政1、社会福祉法人1、学校法人1、NPO法人2	保険センター(行政機関) 各区1センター計10
担い手	母子保健ケアマネージャー(保健師・助産師等) 又は子育て支援ケアマネージャー	助産師等の資格を持つ母子保健相談員等専門の職員
サポート時期	妊娠期から就学までと子育て支援に即している。	妊娠・出産・産後と期間が短い
キャッチコピー	安心・安全な妊娠・出産・子育てを実現	妊娠・出産・育児について不安相談
評価	○ 妊娠期から就学まで長期間1ヶ所でサポート継続。担い手が、行政機関だけでなく民間もあり当事者意向の反映が可能。	△ 妊娠期から産後までと子育て支援の入り口施設としてのサポートは短く、母子健康手帳の交付時に膨大な量の情報伝達が中心。
民間の活力	○ 行政機関と密に連携されており円滑に活動している	△ 「相談」カテゴリーの「さいたま子育てWEB」からの連携で行政機関との連携が薄い
運営面	○	△
資金面	○	△
広報活動	○	△
子育て支援 全般評価	行政機関のトップダウン支援と民間のボトムアップ支援の両方で、妊娠から就学までの切れ目のないサポートが実践されている。	子育て支援の入り口は、妊娠から乳児までを対応。乳児期以降のサポートは再構築が必要。支援団体が多すぎるため、受けたい支援を探すのが難しく利用しにくい。

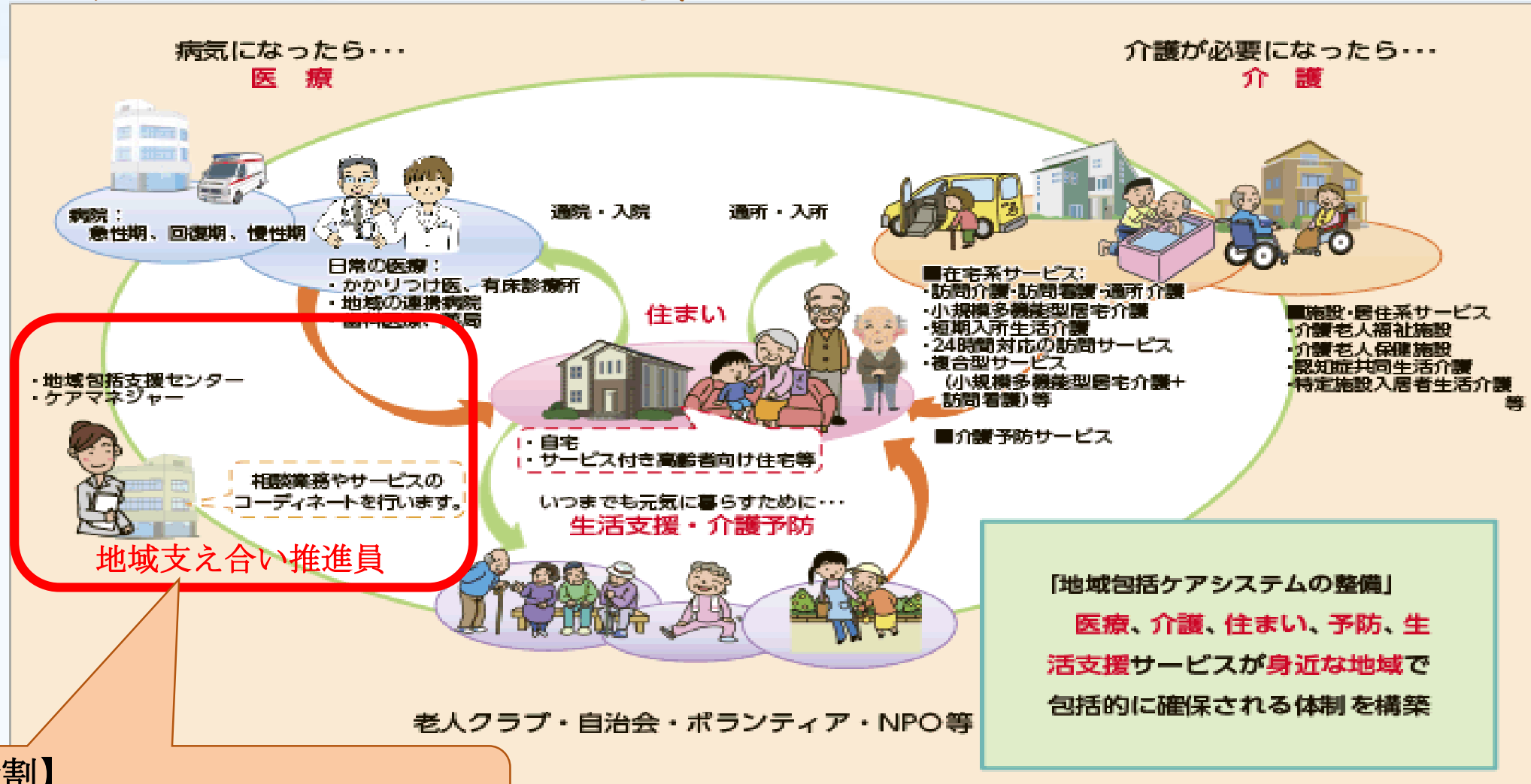
わたしたちのネウボラ提言

「子育て世代包括支援センター」に
子育て支援をコーディネートする
役割を担う人員の配置する！



わたしたちのネウボラ提言

<地域包括ケアシステムの姿>

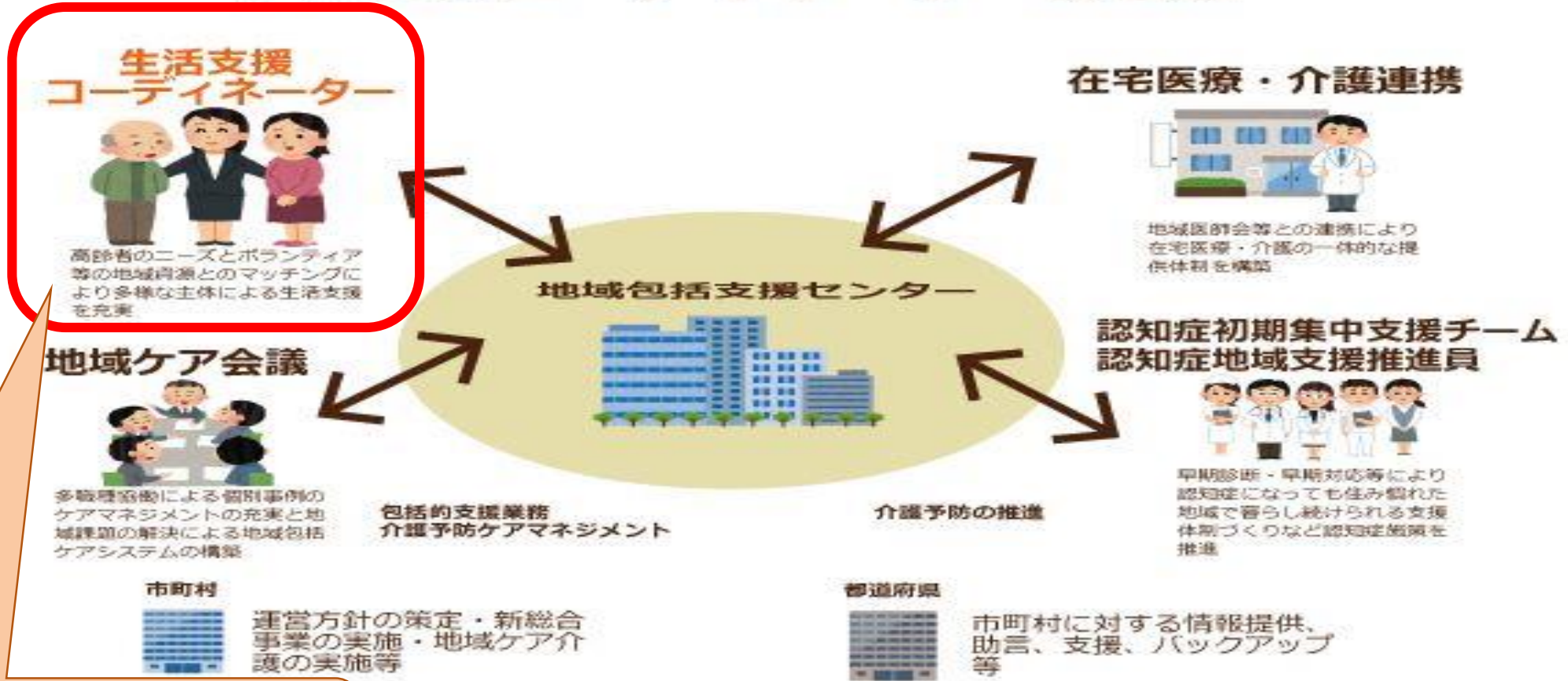


【役割】

市民が中心となる地域づくりや
支え合い活動をバックアップ

わたしたちのネウボラ提言

地域包括支援センターにおける生活支援コーディネーターの役割



【役割】
市民が中心となる地域づくりや
支え合い活動をバックアップ

出所：厚生労働省

わたしたちのネウボラ提言

<子育て支援コーディネーター>

【役割】

- ①各支援団体の相談に乗り、行政への働きかけを支える。
- ②地域の他団体や企業との連携を
助言・支援する体制の整備を推進する。
- ③保健・子育て支援ケアマネジャーと連携し
子育て家庭と支援団体とを結び付ける。
- ④現在ある取り組みや組織・支援団体などと連携しながら
子育て家族に寄り添い支援する。

ご清聴ありがとうございました。